

研究教育業績（過去5年間）

I. 研究業績

1. 主な発表論文

[原著論文]

- 1) Murahashi T., Arai M., Ogata K., Matsumoto M., Higuchi T., Occupational exposure of pharmacists to drugs during tablet crushing and its countermeasures. *Fundamental Toxicological Sciences* 9(3), 85-93 (2022).
- 2) Yamamoto H., Uramaru N., Kawashima A., Higuchi T., Carbonic anhydrase 3 increases during liver adipogenesis even in pre-obesity, and its inhibitors reduce liver adipose accumulation. *FEBS Open Bio.*, 12(4), 827-834 (2022). doi: 10.1002/2211-5463.13376.
- 3) Murahashi T., Suzuki A., Motojima S., Higuchi T., Occupational exposure of pharmacists to drug during the preparation of powder drugs in dispensing pharmacies. *YAKUGAKU ZASSHI* 141, 1109-1116 (2021).
- 4) 村橋 毅, 佐藤太一, 栗原裕香, 樋口敏幸. 農業用水と生活排水が主な水源である埼玉県内の小規模河川（長野落・原市沼川）から採取した河川水中の医薬品分析. *日本薬科大学教育紀要*, 5, 51-55 (2019).

[著書]

- 1) 樋口敏幸（分担執筆）：体育指導者のための国民の健康寿命を延ばす取り組み—理論から実践法まで—、一般社団法人全国体育スポーツ系大学協議会、健康寿命延長に関する研究委員会 編・著（2021年）。
- 2) 樋口敏幸（分担執筆）：106回薬剤師国家試験問題解答・解説、評言社 薬学教育センター 編（2021年）。
- 3) 樋口敏幸（分担執筆）：105回薬剤師国家試験問題解答・解説、評言社 薬学教育センター 編（2020年）。
- 4) 樋口敏幸（分担執筆）：衛生薬学（改訂第3版） 基礎・予防・臨床、今井浩孝・小椋康光 編、南江堂（2020年）
- 5) 樋口敏幸（分担執筆）：コンパス衛生薬学—健康と環境—（改訂第3版）、鍛冶利幸・佐藤雅彦 編、南江堂（2020年）。
- 6) 樋口敏幸（分担執筆）：104回薬剤師国家試験問題解答・解説、評言社 薬学教育センター 編（2019年）。
- 7) 樋口敏幸（分担執筆）：衛生薬学（改訂第2版） 基礎・予防・臨床、今井浩孝・小椋康光 編、南江堂（2018年）。
- 8) 樋口敏幸（分担執筆）：103回薬剤師国家試験問題解答・解説、評言社 薬学教育センター 編（2018年）。

2. 主な学会発表

[国内学会]

- 1) 浦丸直人、川嶋 梓、長部 誠、樋口敏幸、ロドデノールの3T3-L1前駆脂肪細胞における脂肪蓄積および脂肪細胞分化制御因子発現に対する抑制作用、日本薬学会第142年会、3月、名古屋（2022）。

- 2) 長部 誠、村橋 毅、浦丸直人、樋口敏幸、PM2.5 曝露による制御性 T 細胞 (Treg) の抑制機序に関する研究、日本薬学会第 142 年会、3 月、名古屋 (2022)。
- 3) 村橋 毅、高田麗佳、樋口敏幸、埼玉県・東京都を流れる綾瀬川の河川水中医薬品濃度、日本薬学会第 142 年会、3 月、名古屋 (2022)。
- 4) お台場及び葛西海浜公園で採取した海水中の糞便由来の医薬品濃度、村橋 毅、野中瑞希、長部 誠、樋口敏幸、日本薬学会第 140 年会、3 月、京都 (2020)。
- 5) 浦丸直人、鈴木智貴、木根淵有香、川村 諒、渡部容子、長部 誠、樋口敏幸、ラズベリーケトンの還元代謝物であるロドデノールによる脂肪蓄積抑制、フォーラム 2019 衛生薬学・環境トキシコロジー、9 月、京都 (2019)。
- 6) 村橋 毅、郭 錦堂、樋口敏幸、浦丸直人、小山彰子、佐々木翔子、細川優衣、永井夏花、埼玉県における大気中の PM2.5 と多環芳香族炭化水素濃度、フォーラム 2019 衛生薬学・環境トキシコロジー、9 月、京都 (2019)。
- 7) 小畑りさ、種田千夏、村橋 毅、浦丸直人、長部 誠、渡部容子、樋口敏幸、PM_{2.5} 由来抽出物質による Tissue factor の発現誘導、日本薬学会第 139 年会、3 月、千葉 (2019)。
- 8) 浦丸直人、坂本佳澄、鈴木智貴、木根淵有香、川村 諒、渡部容子、北村繁幸、樋口敏幸、ラズベリーケトンの還元的代謝および 3T3-L1 細胞の脂肪化抑制、日本薬学会第 139 年会、3 月、千葉 (2019)。
- 9) 村橋 毅、酒井絢子、樋口敏幸、農業用水と生活排水が主な水源である河川水中の医薬品分析、日本薬学会第 139 年会、3 月、千葉 (2019)。
- 10) 浦丸直人、島田沙保、厚川雄大、渡部容子、樋口敏幸、高脂肪食負荷および通常食ラットにおけるシトクロム P450 活性 / 発現の比較検討、フォーラム 2018 衛生薬学・環境トキシコロジー、9 月、佐世保 (2018)。
- 11) 村田秀之、樋口敏幸、小田切優樹、雄性ラットにおけるグリチルレチン酸によるメチラポンの代謝阻害の評価、日本薬学会第 138 年会、3 月、金沢 (2018)。
- 12) 浦丸直人、上田志帆、小林寛秀、山本税、横田賢治、渡部容子、立花研、樋口敏幸、ラット高脂肪食負荷によるシトクロム P450 活性変動への影響、日本薬学会第 138 年会、3 月、金沢 (2018)。
- 13) 佐藤志穂、渡部容子、立花研、浦丸直人、小島弘幸、吉成浩一、樋口敏幸、北村繁幸、フタル酸エステル類とその代謝物が核内受容体 PXR および PPAR α の転写活性に及ぼす影響、日本薬学会第 138 年会、3 月、金沢 (2018)。
- 14) 村橋 毅、郭 錦堂、樋口敏幸、立花 研、浦丸直人、小西瑞紀、上野華子、佐々木翔子、小山彰子、埼玉県と東京都における大気中の PM2.5 濃度、多感芳香族炭化水素濃度と粉塵の変異原性の比較、日本薬学会第 138 年会、3 月、金沢 (2018)。
- 15) 久保田洋子、村橋 毅、土井孝良、荒井健介、樋口敏幸、安西和紀、ヒューマニズム教育プログラムの構築と課題～アクティブラーニングの導入と評価～、日本薬学会第 138 年会、3 月、金沢 (2018)。
- 16) 村橋 毅、鈴木 彩夏、荒井 美帆、木下 成美、樋口 敏幸、錠剤粉碎器 SafeCrush™ を使用した時の室内医薬品汚染の低減効果について、フォーラム 2017 衛生薬学・環境トキシコロジー、9 月、仙台 (2017)。

3. その他特筆すべき研究業績

[研究費獲得]

- 1) 樋口敏幸 (分担) , 科学研究費補助金基盤研究(C) (文部科学省) , 非アルコール性脂肪性肝疾患における薬物代謝酵素発現変動と薬物相互作用予測への応用, 400 千円 (2021-2024) .

[学会活動]

- 1) 日本薬学会 環境・衛生部会 関連法規情報委員会委員 (2019～2021年)
- 2) 健康寿命延長に関する研究委員会委員 (一般社団法人 全国体育スポーツ系大学協議会)

II. 教育業績

1. 担当授業科目

- 2021年度 食品と健康 (3年前期)、社会・集団と健康 (3年後期)、環境・健康科学実習 (3年後期)、生活習慣病学 (4年前期)、卒業研究 (4年後期、5年、6年通年)、薬学総合演習 I A (4年前期・3コマ)、薬学総合演習 I B (4年後期・1コマ)、実務実習事前実習 (4年後期・4コマ)、衛生特論 (6年前期・3コマ)、薬学総合演習 II (6年後期・2コマ)、総合薬学科学 (1年前期・1コマ)
- 2020年度 食品と健康 (3年前期)、社会・集団と健康 (3年後期)、環境・健康科学実習 (3年後期)、生活習慣病学 (4年前期)、卒業研究 (4年後期、5年、6年通年)、薬学総合演習 I A (4年前期・3コマ)、薬学総合演習 I B (4年後期・1コマ)、実務実習事前実習 (4年後期・4コマ)、衛生特論 (6年前期・3コマ)、薬学総合演習 II (6年後期・2コマ)、総合薬学科学 (1年前期・1コマ)
- 2019年度 食品と健康 (3年前期)、社会・集団と健康 (3年後期)、環境・健康科学実習 (3年後期)、生活習慣病学 (4年前期)、地域と大学 (4年後期・4コマ)、卒業研究 (4年後期、5年、6年通年)、薬学総合演習 I A (4年前期・2コマ)、薬学総合演習 I B (4年後期・1コマ)、実務実習事前実習 (4年後期・4コマ)、薬学総合演習 II (6年通年・5コマ)
- 2018年度 食品と健康 (3年前期)、社会・集団と健康 (3年後期)、生活習慣病学 (4年前期)、卒業研究 (5年、6年通年)、薬学総合演習 I A (4年前期・4コマ)、実務実習事前実習 (4年後期・4コマ)、薬学総合演習 II (6年通年・5コマ)
- 2017年度 食品と健康 (3年前期)、社会・集団と健康 (3年後期)、臨床栄養学 (4年後期)、環境・健康科学実習 (3年後期)、卒業研究 (5年、6年通年)、薬学総合演習 I A (4年前期・4コマ)、総合薬学勉強会 (5年・3コマ)、薬学総合演習 II (6年通年・5コマ)

2. その他特筆すべき教育業績